

Monthly Pickup Topics



災害に備え 地域を地域で守るために 初の避難所運営型防災訓練

毎年10月下旬に実施される大津町総合防災訓練が10月28日に行われました。今回は初の避難所運営型の防災訓練を実施。写真とともに当日の様子をお伝えします。

午前9時に震度7を想定した防災無線が放送され、町内の自治会ごとに防災訓練を行いました。

その後、訓練の中で災害対策本部から避難指示が出され、大津小学校に指定避難所を設置をすることになりました。周辺地域の行政区嘱託員の皆さんを中心に避難所運営の組織を作り、それぞれ専門の班に分け、地域と行政の枠組みを越えた訓練が行われました。

炊き出し訓練や、避難をしてきた住民の健康

チェック、仮設トイレ・ダンボールベッドの設置が必要な人に対するあんしん声かけ訓練などが行われました。訓練の最後には防災士の益田和人さん(町)から、日ごろの備えの大切さを説く防災講演もありました。会場の体育館の外では、AED訓練やチェーンソー訓練など災害時に必要な技能の訓練も。

参加した人は「災害を想定した訓練は、熊本地震を少し思い出し、日ごろの備えの大切さ思い出すきっかけになった」と話していました。



1災害対策本部が設置され、災害時を想定した情報収集が始まります 2指定避難所の大津小体育館に集まる避難住民の皆さん 3周辺地域の行政区嘱託員の皆さんを中心とする避難所運営は専門的な5つの班に分かれて訓練開始 4救護班は避難者役の人に健康チェック 5社会福祉協議会は災害ボランティアセンターの設置訓練 6炊き出し訓練では豚汁とわかめご飯が作られました 7防災士の益田さんの講演では貴重な資料を交えながら講演が行われました 8会場の外では大津町消防団が災害時に必要なチェーンソーの訓練を行いました 9一般参加として高校生も参加し、AED訓練や心臓マッサージ、人工呼吸などを実践していました

災害の経験をつなぐ

「被災した経験を忘れないこと」はとても大切です。町は滋賀県大津市と平成28年熊本地震に支援をいただいた縁で平成29年7月、災害協定を結び、継続的な交流を行っています。

10月19日には、越直美大津市長が町の復興状況や当時の様子を勉強するために行政視察を行いました。大津市も平成29年10月の台風21号の被害を受け防災意識がより一層強くなったといいます。

越市長は、視察の中で被災直後の職員配置、業務の優先順位や、災害廃棄物置き場の運営方法などを聞き、「勉強した内容を大津町と大津市のために生かしたい」と話していました。

◀研修会の終わりに握手を交わす越大津市長と家入町長

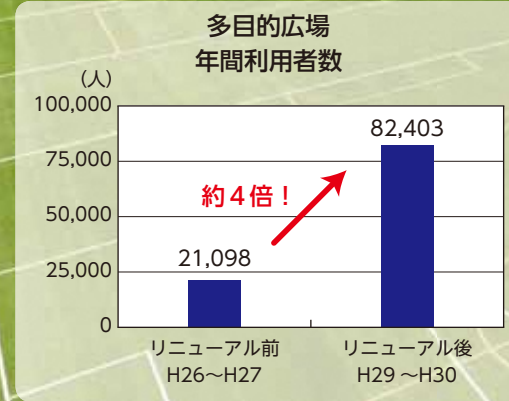


雄大な自然を感じる 美しい緑の広場

町運動公園多目的広場 リニューアル1周年

熊本地震復興のシンボルとして平成29年11月にリニューアルオープンした町運動公園の多目的広場が1周年を迎えました。

利用者はリニューアル前より4倍に増え、日ごろ整備をしている役場生涯学習課生涯スポーツ係の皆さんに話を聞き、施設と運動の魅力をお伝えします。



私たちが 紹介します



役場生涯学習課 生涯スポーツ係の皆さん

ここが変わりました

多目的広場は、天然芝から人工芝にリニューアルしました。町が採用している人工芝は、全国的にも高い品質のもので、熱中症になりにくく、長時間運動しても疲れにくい工夫がされています。

また、平成29年に広場内のサッカーコート2面が県内でも数少ないJFA(日本サッカー協会)の公認を受け、九州大会などの大きな大会を誘致できるようになりました。ナイター設備も完備され、夜間の利用もできるようになり、今後もスポーツを使ったまちづくりの中心となる施設として稼働していく予定です。

運動のすすめ

さて、運動することはたくさんメリットがあります。年齢を重ねると簡単な日常動作が難しくなることがあります。運動をして筋

力がつくことで階段の上り下りが楽になったり、買い物袋を持つのも楽になったりします。また、運動をするとダイエット効果も期待できます。筋力がつくことで寝ている時間にも脂肪が燃焼され太りにくい体になるといわれています。

運動は生活習慣病などを予防し、ストレスを抑制する効果もあり、さらに医療費も下がる可能性があるなど良いことづくめです。

町運動公園には、多目的広場をはじめ、運動をするための施設が多数あります。健康は生涯の財産です。健康のために皆さんも何か運動を始めませんか。

お手伝いします!



トレーニングルーム スタッフ 桐原正喜さん

その他の施設の紹介

多目的広場以外にも今年2月に熊本地震の復旧工事が終わり、再開した町総合体育館や、初心者でも気軽に利用できるトレーニングルームなど充実した施設があります。



●施設に関する詳しい情報・利用に関してのお問い合わせ 役場生涯学習課 生涯スポーツ係 ☎096(293)8088

インタビュー

広場を部活動で利用し、11月17日に全国高校サッカー選手権熊本県大会を制した大津高校の2人に話を聞きました。

トレーニングの質が上がりました

土のグラウンドで練習するよりもパスやシュートがしやすいです。きちんと整備されているので使いやすく、全体的にトレーニングの質が上がりました。感謝の気持ちを持って使っています。



みずの ゆうた 水野雄太さん

けがの心配せず練習に集中

私は、けがが一番気をつけています。キーパーとして本番を意識すると、どうしても激しいプレーをしてしまうので、けがが心配です。その点、多目的広場のサッカー場だと思いついた練習ができるので、サッカー部のレベル向上にも欠かせない場所になっています。



まつむらりゅうのすけ 松村龍之介さん